## 食品・飲料・医薬品



丸共バイオフーズ株式会社(北海道) SANSHO株式会社(東京都) コスメディ製薬株式会社(京都府) 中野BC株式会社(和歌山) ブリリアントアソシエイツ株式会社(鳥取県) 株式会社島ごころ(広島県) 株式会社藤い屋(広島県) 株式会社沖縄ウコン堂(沖縄県) 株式会社ファッションキャンディ(沖縄県)



## コスメディ製薬株式会社(京都府)

世界初の技術を用いた化粧品の製品化に成功、海外展開も計画

きっかけ

研究成果を知的財産権で保護することは重要との認識から、世界で初めて製品化に成功したマイクロニードルの特許を取得。

同社の社長は以前に大手化学メーカーで研究者としての勤務経験があり、当時から研究成果を知的財産権で保護することが重要であると考えていた。同社の製品であるマイクロニードルとは、数ミクロン単位の微細な針を剣山のように配列したものであり、概念自体は20世紀後半に海外において報告されていたが、製造が困難であり、費用もかかることから製品化には至っていなかった。同社は開発から2年の歳月を経て、2008年にヒアルロン酸やコラーゲンなど皮膚に有用な成分を皮膚に直接注入して浸透させるマイクロニードルの化粧品を世界で初めて製品化して特許を取得。このことから、知的財産権については、「新しい技術の開発を行う企業にとって、開発活動と知的財産権活動とは一体である」とも考えている。

取り組み 海外でも製品を製造販売することを視野に入れて、海外へも特許や意匠、商標出願をし、技術の一部は公開せずにノウハウ化。

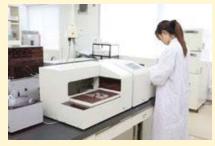
マイクロニードルは、同社にとって重要な技術・製品だが、その他にも経皮吸収をキーワードに した粘着剤や測定装置を開発して特許を取得している。起業当初は他社との共同出願が多かった



マイクロニードル



ヒアルロン酸マイクロニードルの技術応用品



研究開発風景

が、現在は、自社のみでの出願が増えており、小さな改良でも特許出願するようにしている。

海外でも化粧品や医薬品を製造販売することを視野に入れて、米国・欧州・中国・韓国など に特許出願をしており、意匠や商標についても海外の複数の国で出願している。また、技術の一部 は公開せずにノウハウ化して模倣対策を行っている。

出願手続等の特許管理については、主に発明者である社長が明細書を作成しており、国内出願手続きは自社で行う一方で、外国出願や競合他社の出願動向調査などについては、同社の開発・技術状況等を理解している弁理士を顧問として活用している。

## 成果 保有する特許を活用して大手企業とライセンス契約を締結し、ロイヤリ ティ収入を獲得しながら、研究開発及び製品化を進めている。

同社では、マイクロニードルを用いた化粧品事業や、医薬品事業でのライセンス収入等による収益を基に、経皮吸収に関する研究開発を行っている。

化粧品事業では、自社で化粧品を製造・販売するだけでなく、他社にOEM供給も行っている。医薬品事業では、保有する多数の関連する特許をもとに、共同研究等を通じて信頼関係を構築した大手メーカーと独占ライセンス契約を締結している。製品化の前でも開発段階ごとに収入が得られるようにしており、得られたライセンス収入によりマイクロニードルの医薬品の製品化を大手企業と共同で進めている。



コスメディ製薬株式会社は、経皮吸収に関する技術開発を行いながら、マイクロニードルによる化粧品の製造販売並びに医薬品の開発を進めているベンチャー企業である。

## Data

名 称 コスメディ製薬株式会社

代表者 代表取締役 神山 文男

**所 在 地** 京都府京都市南区東九条河西町32

資本金 3.000万円

従業員数 83名

事業内容 医薬品・医薬部外品・化粧品等の研究、開発

及び化粧品製造販売

電話番号 075-950-1510

U R L http://www.cosmed-pharm.co.jp/

知財担当者の体制 知財の専任担当者は置かず、社長や社員が兼務して対応